

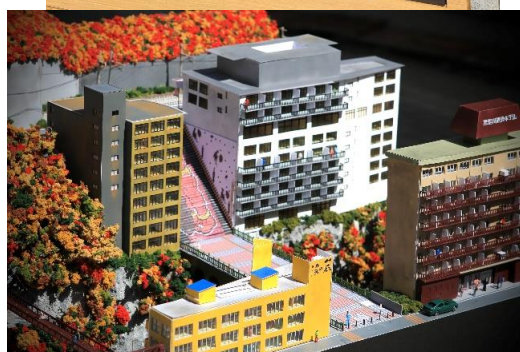
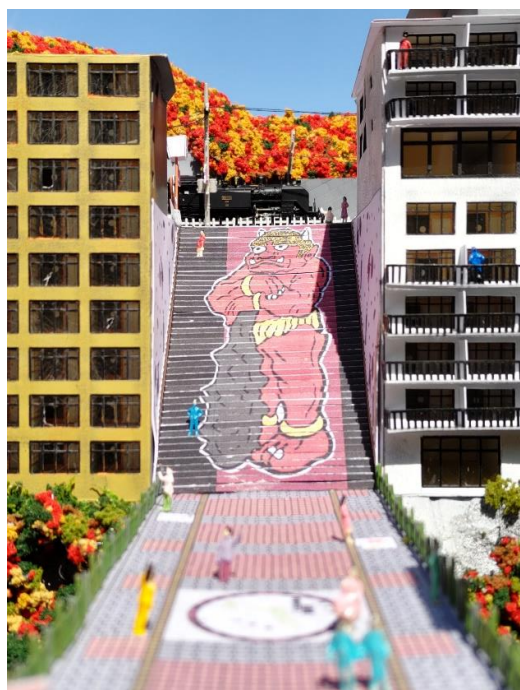
ハイスクール国際ジオラマグランプリ 2023 準グランプリ受賞

## 「鬼怒川の風景」制作記

59-P4 K.I 20-3 K.K 21-7 Y.Y



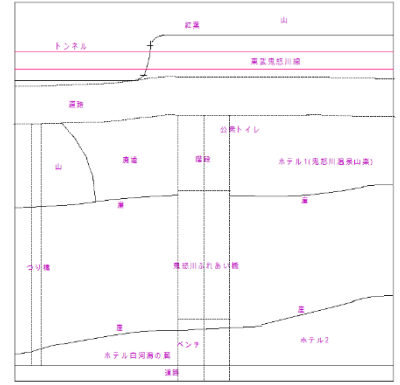
昨年度に引き続き、今年度もザザシティ浜松で開催された「ハイスクール国際ジオラマグランプリ 2023」に栃木県日光市にある鬼怒川ふれあい橋を中心に鬼怒川温泉周辺を再現した「鬼怒川の風景」という作品を出展しました。





はじめに jw-cad を使用して概設計を描きました。

現地の雰囲気を残しつつ、廃墟、ホテル、鬼怒川、吊り橋などの多くの制作物を違和感なく配置するよう気を付けました。また、季節を秋と設定することでジオラマを紅葉で色鮮やかにすることができました。



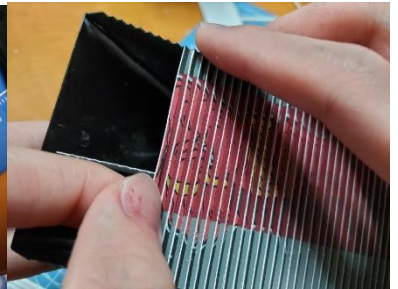
## 見どころ

### ①ふれあい橋の大階段



↑ 現地

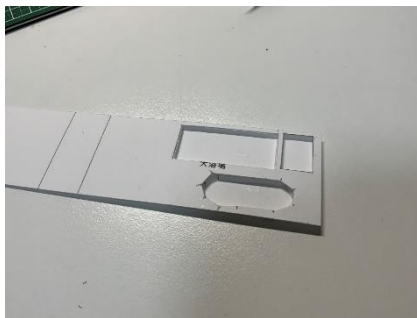
鬼のイラストは windows のペイントソフトを使用して手描きしました。イラストをインクジェットプリンターでケント紙に印刷して制作しています。





## ②鬼怒川観光ホテルの露天風呂

露天風呂内部まで再現しています。  
実際の温泉の色に似せるために  
塗料の色を工夫しました。



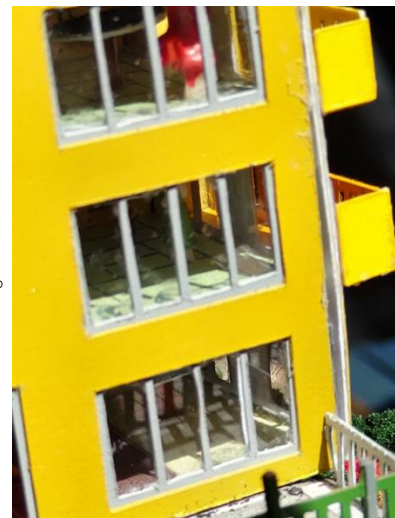
↑ 露天風呂の浴槽

## ③湯の蔵、鬼怒川観光ホテル、鬼怒川温泉山楽、鬼怒川館本店の内装

今回はホテル内の畳、壁なども表現  
しました。

鬼と同じようにペイントソフトを使用し、  
ケント紙にインクジェットプリンターで  
印刷しています。

写真はありませんが黄色い建物の湯の蔵にはテーブルも再現しました。



鬼怒川温泉山楽と鬼怒川観光ホテルのベランダには「鬼怒川を眺める観光客」を再現しました。  
柵はケント紙で制作しています。





#### ④廃墟

廃墟は通常の建物よりも再現が難しい建物です。  
タミヤのウェザリングマスターBを使用して  
錆を表現しています。  
窓の割れやヒビはデザインナイフでプラ板を傷つけ、  
白っぽくなることを利用しました。  
他のホテルと同じように内装も再現しました。



#### ⑤滝見橋(つり橋)

つり橋のロープはミシン糸を着色して使用しました。

糸を一本ずつボンドで貼りつけています。  
左右均等に糸を垂らすのが最も難しかったです。





## ⑥看板、標識等の小物類

看板は現地視察時の資料を基にイラストレーターで制作しました。



↑ 現地



↑ 模型



ホテルの看板は文字をすべて切り抜き、接着しています。



木は針金を使用して手作りしました。

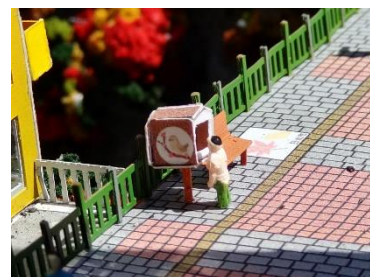
他にもふれあい橋上のスタンプ台もイラストレーターで制作しました。



↑ 針金の木

← 道路上の標識類  
既製品は電柱のみです

↓ スタンプ台



## ⑦ライン下り

乗客以外はすべて手作りです。

船頭は既製品の人を着色し、法被を着ている設定にしました。

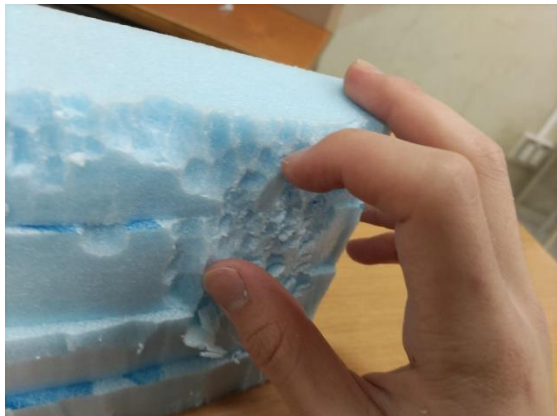




## ⑧崖、水面

崖はスタイロフォームを爪で削りました。

はんだごてなどで制作する方法が有名ですが、今回は崖表面の凹凸や質感を目立たせたかったため爪でひっかいて制作しました。



水面はジェルメディウムを使用しました。



川の制作は初めてだったため、最初は水の色を水色で塗装してしまい、沖縄の海のようになっていました。不自然だったため緑、クリアブルー、青のスプレーを適当に混ぜてやりなおした結果、よりリアルな色合いになりました。



石は本物の石を使用し、一部の石は実際の鬼怒川エリアの物を使用しました。





現地視察は実際の紅葉の時期に行くことはできませんでしたが、たくさんの資料を撮ることができました。



今回は昨年度よりも1人少ない3人での制作でしたが、約3か月で細部までこだわって多くの物を作ることができ、とても満足のいく作品になりました。  
また、準グランプリを受賞できたこともとてもうれしかったです。

